



新しい豊かさ

あい甲賀 いつもの暮らしに「しあわせ」を感じるまち



甲賀市長
岩永 裕貴

平成16年に5つの町が合併し誕生した甲賀市は、本年10月で市制施行20周年を迎えました。

市政発展の礎を築かれた先人の功績に改めて敬意を表するとともに、市民の皆様をはじめ甲賀市とゆかりのあるすべての方に心より感謝を申し上げます。

今日、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化と人口減少の急速な進展、地球温暖化による環境リスクの増加、不安定化する国際情勢、コロナ禍を起因とする価値観や行動様式の変容など、大きく変化しています。そのような中、本市では、城下町、宿場町、忍者、お茶、薬、陶器などの豊富な地域資源、また新名神高速道路をはじめとした広域交通の要衝という立地的特性を生かし、市民の皆様とともにオール甲賀でまちづくりに取り組み発展を遂げてまいりました。

この20周年を機に、甲賀市は未来に向けて新たな歴史を刻んでいきます。

自然あふれる甲賀の地で、歴史・文化・芸術に包まれ、いつもの暮らしに「しあわせ」を感じ、自分らしさを表現できる、そんな「新しい豊かさ」を市民の皆様に実感いただけるまちづくりを進めてまいります。



甲賀市議会議長
橋本 恒典

平成16年10月1日、水口、土山、甲賀、甲南、信楽の5つの町が合併して甲賀市が誕生し、今年で20周年という節目を迎えることができましたことを大変嬉しく思います。

甲賀市には豊かな自然や歴史・文化、優れた技術を持つ地場産業や農業など、数々の素晴らしい財産があります。また、平成20年2月に開通した新名神高速道路は現在6車線化工事が進んでいると共に、名神名阪連絡道路もその実現に向けて進んでいるなど大きな可能性を秘めています。

私たちは、市民一人ひとりが「しあわせ」を実感でき、「このまちに住みたい・住み続けたい」と思えるまちにするために、そして次世代を担う子どもたちが健やかに育まれるまちをめざして、さまざまな取り組みを推し進めていく必要があります。

市議会といたしましても、市民の皆様の声をお聴きしながら、30年後、50年後を見据えた持続可能なまちづくりを進めるとともに、若い世代に魅力あるまちをめざし、更なる市政発展に向けて努力してまいります。

今後とも皆様方の変わらぬお力添えをお願い申し上げます。

